

松本市市民スポーツ大会剣道競技感染予防ガイドライン  
大会参加者及び入館する全員が新型コロナウイルス感染予防を徹底し、安全な大会になるよう心がけること。

◎参加者（入館するすべての方）が大会2週間前からの健康管理、健康状況の把握に取り組み、大会当日にチェックシート（確認票）を受付に提出する。提出のない方の入館は原則認めないこととする。

◎感染予防として、不織布マスクを着用し、大会参加前の検温、入館後、会場を出る前、試合の合間などに手洗い・アルコール消毒を心がける。

37.5℃以上の体温がある場合は入館を認めない。

選手については、試合時以外は不織布マスク着用とする。

◎開場前の入り口付近での密になる行動は行わず、開場時間まで車で待機するなど各自で安全対策に努め、間隔を取って入場すること。

◎選手の着替えについては、更衣室等での密を避けるため、自宅から剣道着・袴での来場を心がけ、帰る際も自宅での着替えを行うようにする。

◎試合場には、役員、選手、監督、審判員、補助員、団体代表保護者（2名まで）の入場とする。ただし、大会参加人数が少ない場合など、これに限らず判断で会場入りを認める場合もある。

◎保護者は、2階の観覧席で座席1席以上の間隔を取り会話を控え、応援は極力拍手のみとすることが望ましい。

◎選手は、試合中、面マスク・マウスシールドを必ず着用し試合を行うこと。

◎選手は、鏢迫り合いをなるべく避ける。鏢迫り合いになった場合は、お互いにすぐ分かれる、引き技を出すなどし膠着状態を避ける。解消しない場合は、審判が判断し【分かれ】の宣告を行う。膠着状態での、掛け声は出さない。ただし、引き技の際の発声は認めることとする。

◎熱中症予防のため、選手は試合前後など水分の補給をすること。

◎体育館入館後の再入場は原則認めない。昼食等は持参し、体育館内で済ませることとする。（急用でやむなく会場を出る場合は、本部に申し出ること）

◎審判旗、補助員記録等に使用するペンなどは各自で同じものを使用し、他のものからの借用はしないようにする。

◎トイレの際に、ふたを閉めて流すなど、細部にも気を払い、行動する。

◎会場の往復の際は、不織布マスクを着用し、長時間（15分以上）の寄り道はしないよう心がける。自宅を出る前、帰宅後にはうがい・手洗い・アルコール消毒を行う。